

SETOGIWA TIMES

発行所：行政書士塩見事務所 E-mail: info@setogiwa.com Web: www.setogiwa.com
大阪市中央区谷町 2-5-4 702 号 Tel: 06-6946-9505

① 子は鏝（かすがい）・・・ではない？

「子は鏝（かすがい）」、今ではほとんど耳にしなくなりました。「子どもが間にいることによって夫婦は円満になる」といった意味のことわざです。

「鏝（かすがい）」とはコの字型の金物で、折り曲げた両側の先端がとがっていて、木造建物の柱と梁など二つの部材に打ち込んでつなぎとめるものです。

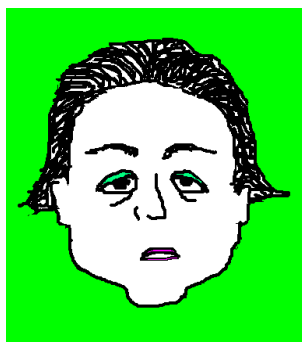
現実に関目を見かけると、今や子どもの存在は疎遠になった夫婦をつなぎとめるだけの力がなくなったかのように、離婚を思いとどまる理由になっていません。

いえむしろ、子どものために離婚を思いとどまるのでなくて、思いとどまることによって子どもに与える悪影響を考えた結果、離婚を決断する人もいます。

① 孫は・・・？

父母をつなぎとめる力の薄れた子どもですが、祖父母に対しては威力をなくしていません。いわゆるじじバカ・ばばバカというものは昔もあったようで、忠臣蔵がテーマの講談に「孫は子より出でてその愛優る（まさる）」という言葉がでてきます。いつの世も親は我が子よりも孫が可愛いということのようです。

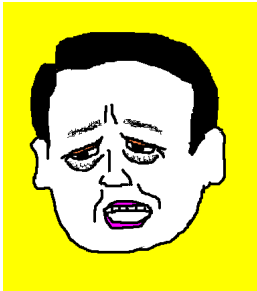
祖父母が孫育てにかかわることについて、周囲からはどうもあまりいいように言われません。「じじ・ばば世代は有り余るほど時間があるからだ」「子育てほどの責任がないからだ」「孫に自分の過去や配偶者の面影を見出して郷愁に浸っているに過ぎない」などなど・・・。



じじ・ばばの本音は分かりませんが、孫育てがじじ・ばば自身の活性化に役立っていることはまちがいないでしょう。孫との交流はじじ・ばばをコミュニケーションの原点に立ちかえらせ、喜び・悲しみ・怒りなどじじ・ばばの忘れかけていた感情を呼び覚まします。

孫育てをする上では連携も必要ですから、じじとばばの交流もいやでも増えることになります。

① 師匠と弟子のように



賞味期限を過ぎた人物がいつまでも組織に君臨すると害を及ぼしますが、じじ・ばばと孫との関係は別物で、生活の知恵や日常何気なく孫をさとすことばが滋養となって、孫のその後の人生に役立つ時がきっと来るはずです。

人生は短く、一度きりですから、じじ・ばばには実現できなかった自分の夢を孫に託す気持ちもあるでしょう。

人間はどこかで「日常とは違う自分」を求めています。旅に出ることや、映画を見て現実を忘れたりするのもそのひとつの表れでしょう。

孫の登場はある意味でじじ・ばばの生活を一変させます。今までなかった楽しみを得たじじ・ばばが、それを手離したくないと思うのも当然です。

しかし、孫の数が増えてくるにつれ、孫それぞれの可愛がり方に差が出たり、面倒を見るのに体力が持たなかったり、時には孫を相手に本気になって怒ったりということもでてきます。何事にも変わり目はあるものです。師匠が弟子の成長を見届けて自分の役割が終わったことを悟り、弟子を世間に送り出すように、じじ・ばばも孫育ての場面からいつかは退場しなければなりません。

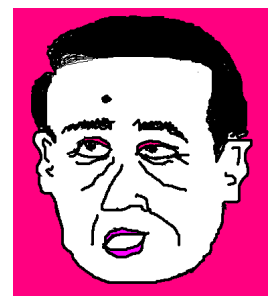
じじ・ばばはあくまでも脇役であって、主役は孫とその父母だからです。

① よき師匠であり続けるために

一旦送り出したら、弟子がつまずいて倒れても手出しはできません。師匠は送り出した弟子を見守るだけです。弟子に力があれば自ら立ち上がるでしょう。

よき弟子は、しばらく師匠の教えを守りやがて師匠の殻を破り、最後に自分自身の技を確立すると言われます。

じじ・ばばとの交流は孫が大きくなるにつれ忘れられるかも知れませんが、じじ・ばばの願いはただひとつ。いつの日か「あの時、じじ・ばばが教えてくれたのはこれだったのか！」と孫が自分たちのことを思いだしてくれることです。



ほかにもできます：相続・遺言/交通事故/告訴・被害届/パスポート手続

E-mail: info@setogiwa.com Web: www.setogiwa.com